

新型コロナウイルス感染症を踏まえた 災害時の避難について

感染症の拡大防止に注意しながら安全に避難しましょう。

■ 避難までの事前準備

避難所、避難経路、災害時の 連絡方法の確認をしましょう

あらかじめ自分の住んでいる所にどんな災害の危険があるのか、避難所、避難経路などを確認しておきましょう。別々の場所にいる場合でも、お互いの安否を確認できるように、日頃から安否確認の方法や集合場所を決めておきましょう。



ご近所との「日常的な交流」を 心がけ、助け合いましょう

災害時は個人の力だけでは限界があり、地域の協力が必要となります。日常の交流を通して地域の連帯感をつちかっていくことも災害対策となります。



非常食や持ち出すものを 準備しておきましょう

通常の非常持ち出し品（携帯電話、モバイルバッテリー、飲料水、非常食、懐中電灯、医薬品、身分証明書、お金、通帳、印鑑、携帯ラジオ、衛生用品、衣類、毛布など）に加え、**感染対策として可能な限りマスク、除菌シート、体温計を備えておきましょう。**



天気予報や気象状況に 気をつけましょう

梅雨時や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ等の天気予報に注意しましょう。大雨や洪水等の各注意報・警報などを見落とさないよう注意しましょう。



新型コロナウイルスの感染リスクを軽減し、安全に避難が行えるよう、
注意点を確認しましょう

■ 避難する場合の注意点

【親戚や知人宅等への避難の検討】

避難先は避難所だけではありません。避難所での「3密」を避けるため、災害の危険性の無い親戚、知人宅へ避難することも考え、前もって相談しておきましょう。また、自宅が安全が十分確保できるなら、避難所等ではなく自宅の二階などの避難（垂直避難）も検討しましょう。

【事前の備え】

避難時の防災用品に、マスク、アルコール消毒液、除菌シート、タオル、体温計などを追加しておきましょう。

【手洗い、咳エチケット等の基本的な感染対策の徹底】

感染症に「自分がかからないよう手洗い」を、「他人にうつさないために咳エチケット」などを行いましょう。また、可能な限り換気に努めるとともに、避難者同士のスペースを2メートル以上確保するなど、心掛けましょう。

【体調がすぐれない場合】

避難所に行く前に検温をお願いします。避難先では体調を継続的にチェックし、発熱や咳など、体調がすぐれない場合は無理をせず、避難所担当者へ申告しましょう。